

# 環境報告書（2010年度）

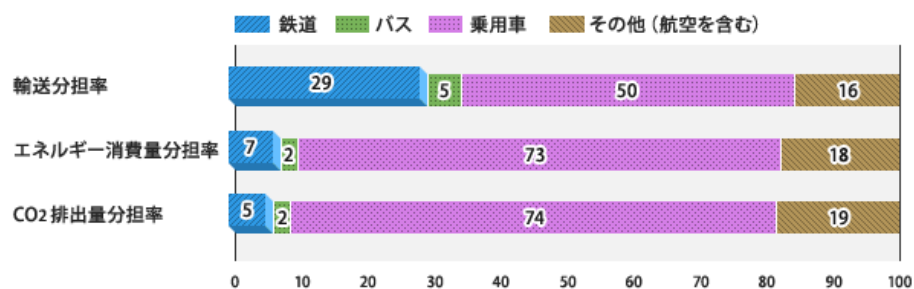
## 鉄道は環境負荷の少ない輸送機関

JR西日本は列車の運行などに多くの電力、燃料を消費し、それにもないCO<sub>2</sub>を排出しています。地球温暖化防止には、このCO<sub>2</sub>排出量削減が重要であるとの認識のもと、エネルギーの効率利用や消費量低減に取り組むほか、社員一人ひとりがCO<sub>2</sub>削減の観点から日々の業務を見直す取り組みに努めています。加えて、交通体系全体としてのCO<sub>2</sub>削減に寄与するため、他の交通機関と連携し、公共交通の利用促進に努めています。

### 鉄道は環境負荷の少ない輸送機関

鉄道は日本の旅客輸送の約3割を担っていますが、エネルギー消費量は約7%、CO<sub>2</sub>排出量は約5%であり、わずかなエネルギーやCO<sub>2</sub>排出で多くのお客様にご利用いただいています。

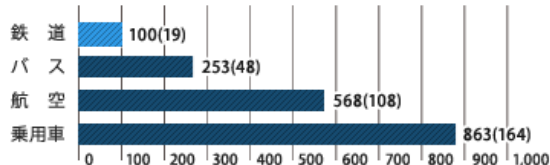
国内旅客輸送機関の輸送量とエネルギー消費量及びCO<sub>2</sub>排出量の構成（平成19年度：全国）



（資料）国土交通省交通統計室「交通関連統計資料集」GIO「日本の温室効果ガス排出量データ」より量出

単位輸送量に換算すると、CO<sub>2</sub>排出量は自家用乗用車の約9分の1となり、鉄道は他の交通機関と比較すると、エネルギー効率に優れ、地球環境に優しい乗り物といえます。

単位輸送量あたりのCO<sub>2</sub>排出量【旅客】（平成20年度）  
鉄道を100とした場合の指数



（注）国土交通省ホームページをもとに作成（ ）は、実際のCO<sub>2</sub>排出量 [g-CO<sub>2</sub>/人キロ]